

医療コラム 国保でわかる！健康安心！

獨協医科大学 准教授 種市 ひろみ

訪問看護って何？

今回は、医療費からみた「訪問看護」のお話をしたいと思います。下に示した円グラフ（図1）をよく見ていただくと分かるのですが、下野市国民健康保険医療費の約1・5%を訪問看護が占めています。医療費全体に占める割合はほんのわずかなのですが、皆さん「訪問看護」をご存知ですか？文字どおり、看護師等が患者さんのお宅を訪問するサービスです。市内を走る「〇〇訪問看護ステーション」と書かれた車に気づかれた方もいらっしゃると思います。自宅に居ながら、訪問看護師などに健康に関する相談をしたり、看護を受けることができるのです（多少条件があります）。

医療保険と介護保険

でも「あれっ、うちのおじいちゃんの訪問看護は、医療じゃなくて、介護保険だけだ」と思った方もいらっしゃると思います。実は、訪問看護を受けている方の多くは介護保険制度を利用しています。では、医療保険と介護保険、何が違うのでしょうか。皆さんご存知のとおり高齢化が進み、訪問看護を必要とする方の数は年々増えています。同時に、医療保険で訪問看護を利用する方々の割合も

下野市国民健康保険医療費の割合

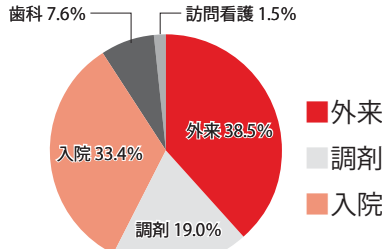


図1 平成23年度レセプトデータより算出

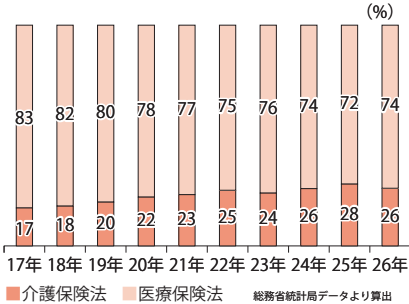


獨協医科大学看護学部准教授。下野市の医療費データを基に市民の健康状況や疾病状況について、調査・分析を行っています。

年々増えています（図2）。

医療保険による訪問看護が増えてきた理由を詳しく説明するとややこしいのですが、ざっくり言えば様々な医療的サポートを必要とする方でも在宅で療養できるようにになってきたからです。介護保険で訪問看護を利用されるのは、脳梗塞や糖尿病が原因で介護を必要とされる方が多いのですが、医療で訪問看護を利用される場合は、がんや神経難病の方、人工呼吸器などの機器

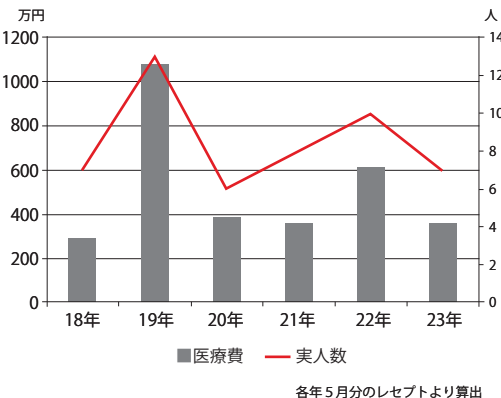
図2 保険別訪問看護利用者の割合



を使われる方がより多く含まれます。バケツの水を浴びるアイス・バケツ・チャレンジで一躍有名になったALSも神経難病の一つです。人工呼吸器や胃ろう（胃に直接栄養を送り込むことができます）など医療的なサポートが必要な場合でも、自宅で過ごすことができず、また、住み慣れた自宅で最後まで家族と一緒に過ごすことも可能です。なぜならば、お医者さんや看護師さんが自宅を訪問して、きちんと医療的なサポートをしてくれるからです。まずは相談してみましよう。

下野市の国保に加入されている方で、どの程度医療保険で訪問看護を利用しているのかデータを

図3 下野市国保レセプトから算出した医療保険による訪問看護利用者数とその医療費の推移



訪問看護が知られていないことがあるようです。「自分らしく生きる」ための選択肢が少しずつ増えています。その一つに在宅で療養することがあります。これからの療養生活について迷ったり、困った時は、お医者さんや看護師さんなどに相談してみてください。病院によっては医療相談窓口が設けられています。また、お近くにある地域包括支援センターや訪問看護ステーションでも、様々な相談に応じてくれます。あなたのまわりにはたくさんの方のサポートがあります。ぜひ活用してくださいね。